



平成27年度 木の香る淡海の家推進事業

滋賀の 木材 **びわ湖材**で 家を建てませんか



炭素を固定している木材は環境にやさしい資材であり、木材を利用することは地球温暖化防止に役立つと言われています。また、木材を地産地消することにより、地域の森林の整備を進め、森林の持つ機能を向上させることが期待されています。

住宅等の新設

耐震改修

びわ湖材

工務店に**助成金**を

使用量7.5~15㎡未満 30万円
使用量15㎡以上 40万円

施主さんに**製材品**を

1戸に0.99㎡以下を無償提供

平成27年 **募集期間**
4月15日~11月30日

詳しくは、県産木材活用推進協議会へ問い合わせさせていただくか、滋賀県木材協会のホームページをご覧ください。



問い合わせ先

県産木材活用推進協議会（事務局：滋賀県木材協会内）

TEL 077-524-3827 FAX 077-522-4258

ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~s-mokkyo/>（滋賀県木材協会）

裏面に事業内容が記載されていますので、参考にしてください。

事業内容

●新設の場合の助成

助成の条件

1. 木造軸組工法で、「滋賀らしい環境こだわり住宅」整備指針に基づいた住宅であること。
2. 構造材などにびわ湖材を一定量以上使用した一戸建ての住宅、店舗または事務所であること。
3. 滋賀県内に自ら居住するためにバリアフリーに配慮した住宅等を新設（新築および改築等）すること。
4. 主要構造材等は、県内で木材業を営む県産材取扱事業者（びわ湖材取扱認定事業者）で製材されたものを使用すること。
5. 建築現場にのぼり旗等で「びわ湖材」を使用しているPRを行い、建築現場見学会など展示PRの場として提供できること。
6. 建築基準法等の法令に適合していること。
7. 原則として、同一助成対象者に対して、同一年度での補助対象は10戸までとする。

助成金の額

区分	一戸あたりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5㎡以上 15㎡未満	30万円	構造材は3㎡以上使用 合板等は最高3㎡とし、使用量は1/2(1.5㎡)で積算。
II	15㎡以上	40万円	構造材は5㎡以上使用 合板等は最高6㎡とし、使用量は1/2(3.0㎡)で積算。

助成対象者

県内で建設業を営んでいる大工さんや工務店など

申請方法

「平成27年度木の香る淡海の家応募要領」に基づき申請してください。

●耐震・バリアフリー改修

滋賀県が実施する「木造住宅耐震・バリアフリー改修等事業」として採択された場合に、住宅所有者にびわ湖材の提供を行います。

提供する製材品

「びわ湖材」等はスギおよびヒノキとして、一戸当たり0.99㎡以下で、その寸法規格は以下のとおりです。

構造用製材 (乾燥処理材)	単位(本)	(正角材)	10.5cm角 長さ3m	12.0cm角 長さ3m
		(平割材)	3.0cm×10.5cm×3m、4.5cm×10.5cm×3m	3.0cm×12.0cm×3m、4.5cm×12.0cm×3m

構造用合板	単位(枚)	(特類2級)	0.9cm×91cm×1.82m、1.2cm×91cm×1.82m
			2.4cm×91cm×1.82m、2.4cm×90cm×1.80m
			2.8cm×91cm×1.82m、2.8cm×90cm×1.80m

手続き

- ①申し込み：住宅の所有者は、市(町)が実施する木造住宅耐震・バリアフリー改修等事業の申請書と併せて木の香る淡海の家推進事業の申請書を市(町)に提出してください。
- ②採択手続：市(町)が改修事業を採択としたときは、事業採択がわかる資料と木の香る淡海の家推進事業申請書を県産木材活用推進協議会に提出してください。協議会は申請内容を審査し、その内容が適正であれば、市(町)と住宅所有者に柱材等の決定通知をします。

柱材等の引き渡し

引き渡し等については、「耐震改修用 木の香る淡海の家推進事業 応募要項（平成27年4月）」に基づき実施します。

木の香る淡海の家推進事業についてのお問い合わせや資料（応募要領）の請求は下記までお願いします。資料や応募要領は滋賀県木材協会のホームページからもダウンロードできます。

ホームページアドレス：<http://www.biwa.ne.jp/~s-mokkyo/>

お問い合わせ
と
申込先

県産木材活用推進協議会（滋賀県木材協会内）

大津市におの浜四丁目1-20 林業会館内

TEL 077-524-3827 FAX 077-522-4258